

2022年4月17日

“ニコデモの信仰” (Nicodemus' Faith)

前奏

鈴木義兄

賛美歌496番

うるわしの白百合 ささやきぬ昔を イエス君の墓より いでまし
し昔を

(くりかえし) うるわしの白百合 ささやきぬ昔を 百合の花 百
合の花 ささやきぬ昔を

春に会う花百合 夢路よりめざめて かぎりなき生命に 咲きいず
る姿よ (くりかえし)

冬枯れのさまより 百合しろき花野に いとし子を御神は 覚まし
たもう今なお (くりかえし)

聖書拝読 マルコによる福音書16章1—8節

説教 “よみがえられた主イエス” Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“また、夜、イエスのみもとに行ったニコデモも、没薬と沈香をまぜたものを百斤ほど持ってきた。” (ヨハネによる福音書19章39節)

今週の金曜日はグッドフライデーと呼ばれる、主イエスの十字架での受難を覚える日です。ヨハネによる福音書17-19章には、その時の様子が詳細に書かれていますが、19章の終わりに、どこかで聞いたことのある名前が出てきます。同じヨハネ書3章で、主イエスのみもとに、夜訪ねてきた律法学者、ニコデモです。彼は、主イエスによって、新しく生まれなければ、神の国をみることができない、といわれましたが、この面会の時は、主イエスのみ言葉が何か、はっきりとわかっていなかったかもしれません。

しかし、彼は、主イエスの最後を見届け、埋葬のために没薬と沈香(アロエ)100斤(30キロ、およそ五十万ドル)を持ってきました。非常に高価な贈り物です。この贈り物には、彼の救い主への信仰がはっきりと表れています。もう一人、ひそかにイエスの弟子となったアリマタヤのヨセフとともに、彼は主イエスのご遺体を香料を入れた亜麻布で巻いて、墓に収めました。

私たちの主イエスへの信仰は、説明されて理解できなくても、求める気持ちがあれば、成長していくものだとニコデモの様子を見ているとわかります。ニコデモはそのような大きな贈り物を捧げたのは、自分が主から受けた恵みを知るようになったからでしょう。主イエスのよみがえりを祝うイースターの前に、ニコデモのように、主から頂いた恵みの価値を覚えられます様にお祈りします。(Yuki Scroggins)

消息

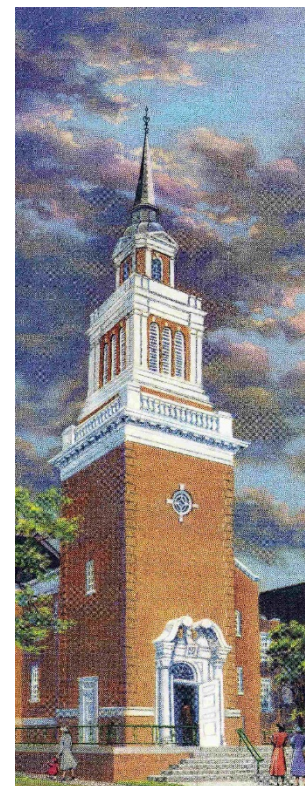
—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

お知らせ

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのパプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。



週報

第3868号

2022年4月17日

ノースショア パプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

発行: 2022年4月13日ノースショアパプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200